

原 健太郎 個展

「深象風景」開催のご案内

Kentaro HARA solo exhibition -Deep Deep Deep, Far Far Far-



GALLERY HEPTAGON
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release 2024.10/16

【アーティストステートメント】

「君、いい彫りしてるね。」

大学時代に偶然とった版画のクラスで、教授から言われたこの言葉から、私の版画への探求が始まった。

白い紙、黒いインク、彫刻刀。シンプルな素材を用いて、自分の内側にある感覚を落とし込む。私の内面に存在する無意識の何かが生み出し、鼓動を打つ。

近年ひょんなことから手に入ったギター、アンプ、そしていろいろなエフェクター、これらで自由に作り出した音を聞きながら、板を彫り進めている。

誰もいない山の中。
風に揺れる枝のざわめき。
葉に落ちる雨粒のリズム。

無限にひろがる自然のハーモニー。

そんなイメージから湧き上がった、なんとも知れない音が、この個展の出発点になっている。

音が誘うその先へ。

深く深く深く、遠く遠く遠く。

このたび、ギャラリーヘプタゴンにて、原健太郎個展「深象風景」を開催いたします。

初めに原健太郎の作品に出会ったとき、彼の主なモチーフは「山」でした。その時たしかに、私は山の細い道を駆け下りるとき後ろ風に巻き上がる木の葉の音が聞こえたのです。

初めて彼とここで展覧会をしたときのテーマは深海の音。彼はギャラリーにギターと自転車を持ち込みました。作品をつくる時彼は道具を自分で自分に合うように作り替えるのですが、ギターも自転車もそうやってカスタマイズされ、彼自身になじむ良きパートナーとなっていました。それらが整然と並ぶアトリエ内の彼の動線上で、彫刻刀が版を刻みます。

彼の版はいわゆる日本の伝統的な木版の版木とは違い、まるで彫刻作品のような表情で即興的なおもしろさと書道の一筆のような緊張感を併せ持っています。それらを数版、数回重ねることでイメージがどんどん深みを増してゆくのです。

インクの濃淡は波音の強弱のように、版の重なりは和音のように、白い余白は静けさや余韻のように。

本展ではさらに彼の心の奥底にある音をきかせてくれるといいます。

これから始まるこの場所で、さらに深く遠く響く彼の「音」はどのように聞こえるのでしょうか。

ぜひ会場にて耳を澄ませてお楽しみ頂ければ幸甚に存じます。

(ギャラリーヘプタゴン・佐山晶子)

【展覧会詳細】

会期 | 2024年11月16日(土)~11月24日(日)

時間 | 12:00~18:00

休廊日 | 11月21日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL: 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



【WORKS】



《Think about》
油性木版、和紙
H710×W605 mm
(2024)



《Gone with the wind》
油性木版、和紙
H315×W315 mm
(2024)



《And then》
油性木版、和紙
H315×W315 mm
(2024)

【PROFILE】原健太郎 Hentaro HARA

- 1977年 熊本県出身 陶芸家の長男として生まれる
1999～00年 米国・モンタナ大学にて美術科版画専攻の教授アシスタントとなる
2000年 米国・モンタナ大学芸術学部美術科版画専攻卒業
2001年 熊本県宇城市の実家「構成窯」にて陶芸を学ぶ
2016年 東京都青梅市に移住
2017年 東京都青梅市さくらファクトリーに版画工房を構える

【経歴】

- 2001年 米国・モンタナ州 ヘレナ空港に木版画「私の知る場所」が熊本県より寄贈される
2002年 米国・ニューヨーク アートスチューデントリーグにて版画（モノタイプ）制作する
米国・ニューヨーク グリニッチ ハウス ポッターリーにて陶芸研修、ワークショップに参加する
2008年 版画と日本舞踊のコラボレーション、舞台を演出する
2009年 NHK 熊本 くまもとの風「玄海発見伝 版画家 原健太郎」に出演
2010年 陶器・陶板・版画展「The Beat of The Earth～地球の鼓動～」(阿蘇白水郷美術館)にて
ドラム、オーストラリア原住民の民族楽器・ディジュリドゥとの即興版画制作のコラボライブを
開催

【展歴】

- 2001年 熊本県立美術館分館にて「私の夢の夢」木版画展を行う
2002年 ゲール マーティン ファインアート (ニューヨーク) にてグループ展を行う
2005年 香港フリンジクラブにて「日港交流年 2005年」に一環としてモノタイプ・陶板「アジアの密度」
展を行う
2009年 ANA 熊本全日空ホテル ニュースカイのロビーに版画を展示
2010年 阿蘇白水郷美術館 (熊本県南阿蘇) にて「The Beat of The Earth～地球の鼓動～」陶器・陶板・
版画展を開催
2012年 アーデルハウス (熊本県嘉島町) にて版画と陶展「6つの季節」を開催
2013年 木斛邸 (熊本市東区) にて、陶器・版画展「Walking in the Forest 杜の古道」を開催
2020年 ギャラリー KINGYO (東京都文京区千駄木) にて、グループ展「9月の版画展」(ギャラリー
KINGYO 主催) 参加
2020年 ギャラリー KINGYO (東京都文京区千駄木) にて、木版画展「私の知る山」を開催
2021年 ギャラリー KINGYO (東京都文京区千駄木) にて、木版画展「Slow motion」を開催
2022年 ギャラリーヘプタゴン (京都) にて、木版画展「Deep Sea Chord」を開催
2024年 galerie_convivi (神戸) にて、木版画展「Storytellers ストーリーテラーズ ～山々は語る～」を
開催

【入選・受賞歴】

- 2002年 九州電力若手工芸家国内外派遣研修制度の奨学金を得る
第20回プレイディアス現代アート展 (ニューヨーク) で陶板「花櫻」入選
2017年 東京都青梅市立美術館主催 ビエンナーレ OME にて版画「The Beginning of start」入選
2021年 第8回 山本鼎版画大賞展にて木版画「裏山からの視線」入選
2024年 第9回 山本鼎版画大賞展にて木版画「Getting there」入選